

【一般研究報告 I I I (テーマセッション) について】(キーワード付き)

コーディネーター(コーディネーター名、所属、連絡先)

榎田 美雄(かした よしお)

徳島大学大学院 S A S 研究部

〒770-8502 徳島市南常三島町 1 丁目 1 番地 徳島大学 S A S 研究部 榎田研究室

TEL&FAX.088-656-9512 (ダイヤルイン)

kashida@ias.tokushima-u.ac.jp

テーマ

高等教育および専門職養成研修(実地訓練)場面の研究におけるビデオデータの活用

趣旨等

変化が激しく、かつ、専門職相互が高度に関連し合っている現代社会では、高等教育における専門職業人の養成方法も変わっていかざるを得ないだろう。それは、基礎知識の量の確保や、知的操作のスピードのアップではなく、変化に対応する柔軟性の確保や他職種(あるいは、クライアントや市民)と創造的に共同する能力の養成が重視されるということだろう。この変化の内容を、本田由紀 2005『多元化する「能力」と日本社会』(NTT出版)にならって、「能力」(近代型能力)から「能力」(ポスト近代型能力)への変化と呼んでも良いかも知れない。この変化の状況は、たしかに起きているようなのだが、十分な社会学的解明をいまだされていないのではないだろうか。

今回のテーマセッションの目的は、まず、高等教育の現場および、専門職養成研修の現場での変化を、詳細に検討分析するやり方として、ビデオデータの活用法に注目することである。ビデオデータ利用方法論に照準した研究発表は歓迎である。ついで、ビデオデータを活用した研究を総覧的に集め、諸研究の異同を確認した上で、今後の研究展望を図ることが、第二の目的である。なるべく多くの分野からのエントリーを希望したい。

例えば、幼児児童教育場面、医学教育場面、看護学教育場面、臨床法学教育場面、工学教育場面などに関する諸研究からのエントリーを想定している。あるいは、より焦点を絞ったトピックの形で掲げるのなら、「小学校英語担当者養成のためのビデオ研究」、「医療面接能力の向上に志向したビデオ研究」、「市民との対話能力の向上に志向したサイエンス・カフェのビデオ研究」などもありえよう。

液晶プロジェクターとスピーカーは、コーディネーター側で用意する。登壇申し込み者からの希望があれば、動画からの静止画面の切り取りや、簡単なビデオ編集の代行位までならば、コーディネーターの方で、対応するつもりがあるので、臆せず申し込んで欲しい。

キーワード

ビデオデータ活用、 高等教育、 ポスト近代型能力、 実地訓練